

市民協働によるまちづくりへ



市民討議会で10～70代が世代を超えた討議を行う

7月11日、市民学習情報センターで市民討議会が開催されました。市民討議会は、市民協働によるまちづくりを推進するため平成24年度から公益財団法人五所川原青年会議所と市の協働で実施しており、今年で4回目。無作為に抽出した1500名の市民へ参加案内書を送付し、参加を希望した54名から抽選で決定した35名が「ともに語ろう、ふるさとの未来を」五所川原市総合計画重点プロジェクトを考える」をテーマに意見を出し合いました。

五所川原市総合計画重点戦略の推進において若者の定住促進、交

意見を出し合う参加者の皆さん。
若者定住や観光客増加に必要なことを付せん
に書きこみ、それぞれ分類。
五所川原をより良くするために自分たちがで
きる活動を討議結果としてまとめます。

流入人口の増加、健康の増進の3つが重要であること、その背景についての情報提供を受け、討議がスタート。5つのグループに分かれ、①3つの重点戦略を達成する為に必要なことは？②①のアイデアを組み合わせてできる一体的な取組は？③私たちにできる取組は？の3段階で討議を行いました。さまざまな立場から市民目線で議論し、最後にグループごとに討議結果を発表しました(概要は下表参照)。

討議会全体のコーディネーターを務めた平井太郎前大学院地域社会研究科准教授は、「難しいテーマだったが、活発に意見を出し合い、まとめられた意見はいずれも創意工夫にあふれたものになった。他地域に比べて若い参加者が多く、自身が誇れるまちづくりを市民一人ひとりが考え、行動に移していけるまちだと感じた。」と総括しました。

参加した皆さんから出されたまちづくりに対するアイデアは、施策推進の上での参考とし、今後も市政への市民参画を推進していきます。

市民討議会についてのお問い合わせは、企画課(内線2154)まで。

発表内容の概要

○やってみればドロリンピック五所川原

運動会、収穫体験、料理教室、地吹雪体験等の田んぼを中心に据えたイベントを通年で行うことで、若者が集う場所の確保、流入人口増加、食の見直しなどを一体的に行う。

○ふれあいクリーン作戦

街の清掃活動を通し、自分の住むまちへの愛着と誇りをもってもらうことを目指す。幅広い世代の参加促進の仕組みを作るため参加回数に応じた商品券等の賞品を用意し、モチベーションアップを図る。

○朝から楽しむ立佞武多

立佞武多の説明や出店、観光案内などの様々なイベントを行うことで1日中の祭りにし、交流人口を増加させつつ、地元若者の積極的な立佞武多への参加促進を目指す。

○サブカル in 五所川原

集客力のあるサブカルチャーを中心としたイベントを開催し、地元若者の積極的参加と観光客の増加をねらう。立佞武多の館などの五所川原にしかない景色を活かして更なる効果拡大を図る。

○夢のテーマパークコンテスト

自然公園、道の駅、レストラン、宿泊施設等を一箇所にまとめる夢のテーマパーク構想やアイデアをコンテスト形式で広く募集し、実現を目指す。

討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市長へ提出します。